

日本基督教団 八ヶ岳教会 主日礼拝 NO.1197 2021年11月7日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 渡部敬子 9:30~10:30
 ※讃美歌は二番までうたいます 第二部礼拝 司式 福田奈里子 11:00~12:00

前奏	黙想	祈禱
讃美歌	27 とこ世につきせぬ	讃美歌 270 信仰こそ旅路を
祈禱		献金
信仰告白	使徒信条 566	讃詠 547 いまささぐるそなえものを
聖書	エレミヤ書 9:22~23 マタイによる福音書 9:20~22	黙禱 主の祈り 564
讃美歌	272 ナザレのふせやに	頌栄 543 主イエスのめぐみよ
説教	『この身で、この目で、この口で』	祝禱 後奏

宗教改革記念日が過ぎると奇妙な想念が浮んだ。雲上の高い天から吊り下がっている大きな振子が、地上において長い軌道を往復運動しているイメージ。振子は信仰の極北に達すると、戻って来、目の前をあっという間に通り過ぎて、逆の彼方へと振れて行く。先主日はロマ書に誘われて、「私たちの〔信仰は神の力の現れ(マ 1:16~17)〕で私たちの所有ではない」という、信仰の極北へ行って来た。

婦人病の女は回復を願い、イエスの後ろからそっと衣の端に触れた(マタイ 9:20~21)。すると「イエスは振り向いて、彼女を見ながら言われた。〔娘よ、元気になりなさい。あなたの信仰があなたを救った〕。そのとき、彼女は治った(9:22)」。女を救ったのは、女自身の信仰であった。信仰は、一方の極では徹底して神の力であり、もう一方においては私たち一人ひとりが真剣に求めることへの答えとなろう。

振子は、世界を網羅するほどに大きく運動しているが、雲上の見えない支点は永遠に変わらない。キリスト者は折々、あちらから、こちらから、見えない天を見上げる。癒された女の後方には死んだ娘の報告があり(9:18)、女の前方には甦った娘の報告が現れる(9:25)。これもまた振子運動の光景か。

婦人病を癒したイエスは、次に二人の盲人の信仰を確かめ(9:28)、「あなたがたの信じているとおりにするように」と言う(9:29)視力が回復した(9:30)。その次は意思表示のない聾啞者(9:32)を回復させた(9:33)。こうして順を追って眺めると、「あなたの信仰」の現れ方が十人十色であることが分る。①婦人病の女は信仰を告白していない(9:21)、②二人の盲人ははっきり告白し(9:28)、③聾啞者は他者に連れられて来たただけだった(9:32)。このように多様な形で「あなたの信仰があなたを救う(9:22)」。「私」に与えられる信仰が、その時の状況に即して「私自身」を救う。救われる機会の一つひとつ違うのだ。

キリストは「一人ひとりの信仰」に接して癒す。自分の体で感じさせ、自分の目で見させ、自分の耳で聞かせ、自分の口で語らせて、己が信仰を自覚させる。そして究極的には、死の拘束から(9:18)、復活の命を得て解き放たれ、立ち上がる(9:25)。信仰は神の力だが(マ 1:16~17)、私たちにその神の力の内にあることを覚えさせ、各々の状況に即した「あなたの信仰(マタイ 9:22)」として現れる。

預言者は、知恵や力、富といった世が羨望するものを誇るなど戒め(エレミヤ 9:22)、「目覚めてわたし(神)を知ることを。わたしこそ主であることを誇れ(9:23)」と告げた。あの女のように、二人の盲人のように、連れて来られた聾啞者のように、目覚めさせられて神と出会い、己自身への救いを知る。女は軽くなっていく己が身の変化をありのまま感じ(マタイ 9:22)、二人の盲人は光と影が織りなす世界の奥行きをありのまま見(9:30)、聾啞者は人々の言葉や鳥の声をありのまま聴き、思うところをありのまま語った(9:33)。すなわち彼らは「彼らの信仰」によって救われ、生きて死に(9:18)、また甦る(9:25)。

知恵や力、富の類を人は求める(エレミヤ 9:22)。若い頃や働き盛りの時だけではない。老齢に至り権力や富は手放しても、知恵や信仰で皆に褒められたいし、みっともないのは嫌だ。その節度は大切だが、それより「慈しみと正義と恵みの業」を行う主なる神を、シャキッと目覚めて知ること(9:23)が大事。

善なる悪人のように悪なる善人がいる そんな人間の斑文様は常に変化している その時にあるが
 まま見ればよい あるがまま聴けばよい 判断する前にあるがまま感じる それが信仰という答え

本日礼拝後に役員会があります。またクリスマスに向けてのトーンチャイムの練習もあります。
 11/13(土)1:30~3:00 集会所で聖書研究会。毎週飾っていたコンちゃんのお花は来春までお休み。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。